

2009.JUN

## 釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニューズレター第7号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

旅の中で一番楽しみなのが、その土地の料理ですが私は特に全国の地鶏屋さんをあちこちと食べて廻っていますので今ではもう地鶏評論家のように思っています。比内地鶏、名古屋コーチン、薩摩地鶏どれも美味しいのですが、私は若鳥の柔らかい肉よりも薩摩地鶏の軍鶏の親鳥の硬い肉を塩味だけで炭火で焼いたものが噛みごたえはありますが旨いと思います。宮崎には当たり前がありますが、それでも味の差はかなり違います。宮崎で一番メジャーなのが「丸万」ですが、この「ももやき」は薬のような常用性があるのではないかとくらいにクセになります。

またメニューがシンプルで初めての人も安心、ビールと酒ともも焼き、そしてキュウリしかないのです。

お店に入ると「何本ね？」ともも焼きの本数を聞かれるだけという、このぶっくらぼうでありながら優しいオーダーの取り方は妙に嬉しいのです。ちなみに鹿児島と宮崎という酒とは“焼酎”のことで、この焼酎が地鶏にピッタリなのですが、この組み合わせは酒飲みにとっては致福の嬉しさ。この旨い地鶏さんは宮崎以外では福岡に3件、東京にたった1件という希少価値の高さです。思い出したらヨダレが。



## Gear-Labができるまで。泣いた。笑った。感動した。(その7)

前号までは今だから話せるとんでもない貧乏暮らしの話でしたが、結果的に3年間ハワイ大学で空手指導員として生活していました。帰国前の極貧生活は私自身のなかでは大きな転換期でもあったようです。日本に帰ってきて実家で心身ともに復活すると身体から湧き出てくるエネルギーは自分で言うのも変ですが、まるで蒙古馬。それに若さと横柄さが健在しており廻りの方々に迷惑ばかりかけていました。

プロとして空手やキックの試合出場を再開したのですが、それだけでは食べていけません。そこで、大学が建築科だったので設計事務所に勤めました。入社のための面接時に「私はプロキックボクシン

グとプロ空手の選手なので練習のために毎日夕方5時には仕事をあがりたいたい。」という何とも傍若無人横暴卑劣の条件を新入社員でありながらその会社社長に申し上げたのです。非常識と言えばその通りですが、私の身体は夕方になると全身がガタガタ震えるくらい練習がしたいという完全な病気です。

実はまだ格闘技で生きていく夢を捨てきれなかったんです。今はK-1などの闘えるステージがあってうらやましくもあります。でもなくて良かったのかも。

その会社社長は私の横暴ぶりを見事に包み込むくらいの人物でした。「おお～。プロか。是非やんなさい。徹底的にリングで暴れなさい。プロの魂をみんなに見せてやりなさい。」・・・正直凄いいブレッシャーでした。(〜\_〜)

仕事時間中は無能ながら全力でやり、夕方から毎日2時間半ほどの練習を一日も欠かさずやり、また海外に出て行くことを密かに考えていました。

そうしながらも遊び大好きで毎週友人のヨットに乗るようになるのですが、ヨットに乗りすぎて人生の羅針盤が狂い始めました。Gear-Labのラジコンフィッシングボートを開発するきっかけ

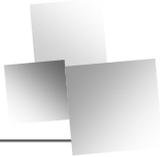
となったのですが、ロマン溢れる海とヨットの話しをさせていただきます。

30feetのヨットでの私の役目は力任せにウインチを回したり、デッキを走り回ってシートを引っ張ったりするクルーです。海風にあたり、波の音を聞くために船に乗っていたような気もします。ヨットで弓角やタコベイトを引いて青物がかかるのは最高の遊びです。壱岐という島まで片道9時間かけて行ったり、韓国へアリアンレース、沖縄への長い航海。何にもない退屈なヨットの上で教わったのは高杉晋作の「面白きこともなき世を面白く。」を人生の縮図として実感したことです。

300リットルの水が4人ではすぐなくなります。だから身体を洗うのはスコールが来るのを予測して少量の真水と石鹸で身体を洗い歯を磨き、そのあと予測通りのスコールで洗い流すことです。たまに空模様の予測が外れて雨が降りません。海水では油が固まったようになり流せないでカミソリで全身の毛を剃り落とします。あそこの毛もツルツルで。面倒になり頭もツルツルに。

徳之島の海に潜ると伊勢エビがかなり獲れました。豪華伊勢エビ鍋。地元の人が寄ってきてこの料理は「なぐさみ」だと言っていました。漁港で漁師とドンチャン騒ぎです。(次ページに続く)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとられない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



つつき 赤銅色に日焼けした漁師の話は近海だけでなくマルハの漁船で遠洋漁業にでかけた話は最高です。ドーバー海峡の恐ろしさ、マゼラン海峡の亡霊、マダガスカル島の天国のような自然の話などは、つきることがありません。久々に飲んだ冷えたビールは4人で夜明けまで80本。2時間寝て「寝過ぎると目が腐れるぞ」とたたき起こされても、しっかり座禅を組み、ヨットの上では水を得た魚のように動き廻る私たちは間違いなく異常者なのかもしれませんが、体育会系なので説明のしようがありません。

さて外洋にヨットですと潜水艦に出くわす確立が高くなります。ヨットは港湾に出入りする以外はエンジンを殆ど廻していないので潜水艦のソナーには映らないのでしょう。いきなり近くからとビルのような物体が海面に浮上してくる姿はまるで鯨です。初めてのときは腰が抜けそうになりました。特に玄界灘はいろんな国の潜水艦の通り道なのでしょう。怪しい潜水艦に出会う確立が高いのです。

また近くの海でも外国という意識が船に乗っていると感じます。博多湾の中にも怪しい船はいます。自動小銃のカラシニコフを持ったままこっちへ来いと手招きする中国船籍らしい船には流石に私も全速で逃げたくります。

ある日福岡市ヨットハーバーにいと二本マストの大きなヨットが入ってきました。何故か白人男性が一人で操舵しています。接岸を手伝ってやりながら、「どこから来た?」「アメリカから」「一人?」「そう一人。妻と新婚旅行だったけどフィリピンのミンダナオ島のビーチで日光浴していたら、自動小銃をもったボートが近づき妻をさらわれた。」と言うのです。2カ月間ボリスに捜索願いをしたが、 (続く)

## 「落としギャフ」6月リリース

最近ではショックリーダーとPEラインを結ぶFGノット治具にどっぷり浸かっており、日頃の開発スピードにはなりません。最近では益々妥協を許さない真面目なGear-Labになっています。(〜;) 落としギャフも先月リリース予定でしたが、6月にずれ込んでいます。でも自分自身にNGを出したことでカッコイイギャフが出来つつあります。ポケットサイズの小さくて的確に引っ掛けてくれるギャフです。

5kg以内の魚なら簡単に引き上げられる機能的な落としギャフです。…さてとフィールドテスト〜! (〜;) )

## しっかり「絞め太郎」6月リリース。

FGノット治具を開発しながら思ったのですが、10号以上のハリスに針を結んだり、ジギングのアシストフックに使う溶接リングに20号クラスのリーダーを結ぶのがいかに大変かを感じました。ラインが太いと結びが甘くなりやすいのです。そこで針やリングをハリスにしっかり締め込みができるような治具を開発しました。コンパクトでまたまたカッコ良さを求めました。仕掛けはしっかり絞め込んで安心した釣りを楽しんでください。

どうぞお楽しみに。(A。A)

反政府ゲリラが盛んなところで捜索はやってくれなかったらしく、アメリカにも帰れず日本に来たと言います。( ; ; )

EVER GREENという世界一の台湾国籍の海運企業をご存じでしょうか?福岡に大きな観覧車があるのですが一回り大きな観覧車をその横に立ててしまったEVER GREEN会長の記者会見でのことですが、「横に観覧車があるのに何故また観覧車を建てたのですか?」という質問に「気がつきませんでした。」という回答をした常識がちょっと違う方です。ヨット付き合いで関係があり、ちょうど彼を見かけたのですが、なんとこの時代に影武者が二人いるのです。つまり会長が3人でその横にスーツ姿のSPが二人づつ。SPの胸のあたりは間違いなく銃を忍ばせていて少し膨らんでいます。3人の会長がそれぞれ別々のリンカーンタウンカーのリムジンに乗り込み福岡都市高速を飛ばして行きます。大企業を一人で立ち上げてきたなかで、何か個人的な恨みを買っているのかも、まるでゴルゴ13の標的になりそうな人です。

海は、やっぱり既に海外なのです。そんな話は船を通してたくさんあり、いろんな物語がはらんでいます。

そうした中で20万円のラジコンフィッシングボートを造った私たち4人も妙な男達です。本職のヨットビルダーとアングラー、そしてラジコン。そんな遊びのスキルのジョイントで製造したトロリング専用艇にルアーを引かせました。造船技術については誰にも負けないと思っているし、魚に負けないパワフルな船のトルク。60cmのFRP船でなんと最高70cmのシーバスまで釣ってしまいます。私たちの発想は船がウキなのです。大阪府警や海上保安庁からの注文もあり、釣具開発ということにGear-Labが立ち上がろうとしていました。Gear-Lab誕生の裏話でした。 次回につづく。

## 株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーをご希望の方はメールください。少しお時間を頂けるのであれば差し上げます。

## Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します!一杯呑みましょう。(〜) )

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DETCHEこと福山でした